

基本理念検討資料（1）（上位計画や方向性等を踏まえたキーワード）

1) 上位関連計画の理念等

- ① 『本庄市総合振興計画（H30/3策定）』における将来像
あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄
～世のため、後のため～

基本理念
 みんなで育む 安心・共生の まちづくり
 訪れたくなる 住み続けたくなる まちづくり
 市民と行政が ともに創る 安全のまちづくり

- ② 『本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R2/3策定）』における全体目標
次の時代につながるまち ～世のため、後のため～

基本戦略
 活力ある地域で、企業と働く人がともに輝けるまち
 若い世代の希望をかなえる誰もが活躍できるまち
 持続可能で安心した暮らしできるまち
 誰もが知っていて訪れたくなる住み続けたくなるまち

- ③ 『本庄市都市計画マスタープラン（H25/3策定）』における基本目標
「環境共生」と「健康」の都市づくりによる新たな魅力と価値の創造・発信
地域の風土を楽しみながら安心して暮らし続けられる地域社会システムの確立
地域社会を支え動かす協働・連携体制の構築

- ④ 『本庄市環境基本計画（H30/3策定）』における目指す環境像
『地球にやさしい持続可能なまち』
『豊かな自然と活発な産業が共存するまち』
『人々が環境保全に取り組み、快適に安心して暮らせるまち』

- ⑤ 『本庄市子ども子育て支援事業計画（H27/3策定）』における基本理念
安心して子どもを生み育てることができる支援体制づくり
～子どもが親が地域が支え合いともに育つ本庄市～

- ⑥ 『本庄市観光振興計画（H30/3策定）』におけるめざす姿
 ○本庄市の地域資源を媒介に訪れる人たちと市民の交流が深まり、「また来たい」と思われる観光地となっています。
 ○農業・工業やフィルムコミッションなど、地域の産業と結びついた観光活性化策が繰り広げられています。

- ⑦ 『本庄市生涯学習推進指針（H31/3策定）』における指針

学びを支える
 学びの機会の充実
 学びの成果を活かす環境づくり
 家庭教育の支援
 文化活動の支援

2) 旧計画の理念等

- 『(旧) 本庄市緑の基本計画（H15/3策定）』における基本理念
市民とともに、本庄市の緑をまもり、つくり、はぐくむことを目指します
 計画の3つの柱

利根川、大久保山、段丘斜面林など
 本庄市を代表とする
 水と緑の保全と活用を図ります

市民の暮らしを豊かにする
 公園や緑地などの
 緑を創出します

緑を育みながら
 人の輪、地域の和の
 形成を目指します

『児玉都市計画区域 緑のマスター
 プラン策定調査（H元/3策定）』
 における目的

歴史に彩られた町とし、きたる21世
 紀へ優れた豊かな自然環境の保全を
 図り、都市公園等の整備及びオープン
 スペースを確保していくこと

3) その他

① 緑を取り巻く社会情勢

- 緑の持つ
 多面的機能の
 再認識と導入
グリーンインフラ
 国土の強靭化
 緑を基調とした
 美しい自然・文化的
 景観の継承

- ストックを活かした
 まちづくり
 戰略的な
 維持管理と更新

- 次代を支える
 人材の育成とサポート
 地域づくりにおける
 多様な主体の
 参加と連携

- ② SDGs (Sustainable Development Goals の略)
 2015年9月の国連サミットで採択された持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

目標11 包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する

目標13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な森林経営、土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

4) この計画の方向性

多様な機能、緑の恩恵、暮らしに活かし、将来世代に引き継いでいく

多様な市民ニーズに
 応えるレクリエーション
 空間の充実

歴史や文化を伝える
 緑の継承と
 良好なまちなみの形成

持続可能で魅力ある
 地域づくりのための
 グリーンインフラの推進

緑のまちづくりの担い手育成と
 多様な主体の参加・連携する
 市民協働の実現

次のようなキーワードが導かれます

あなた・みんな
 多様な主体の協働・連携
 (市民と)ともに、交流

世のため、後のため
 (誰もがその恩恵を享受できる状態)
 将来世代(次世代)、支え合う、SDGs

豊かなまち(暮らし)、健やか(健康)、
 快適、訪れたくなる、住み続けたくなる、
 魅力、活力、安心
 安心して子どもを生み育てることができる
 持続可能なまち、環境共生

緑の多様な(豊かな)機能により
 むらしを支える(グリーンインフラ)
 むらしに活かす、緑の恩恵、めぐみ

まちづくり、
 育む、学ぶ、活かす、
 つながる、引き継ぐ

歴史、城下町・宿場町、本庄

【グリーンインフラ】自然が有する多様な機能や仕組みを活用し社会的課題を解決する持続的な地域を創出する取り組み

【生物多様性】生物のたとの豊かな個性とつながりのこと。生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つのレベルで多様性があるとしている。

【ストック】これまで蓄積してきた公共施設、道路、公園などの社会資本のこと。時代とともに変わるニーズに適応し効率的な維持更新、再編集が必要となる。

基本理念検討資料（2）（基本理念、将来像図）

基本理念（案）

A案

**ともに学び とも育む
めぐみ豊かな緑に支えられた 健やかなまち 本庄**

B案

**暮らしを支える豊かな緑を
みんなで育み 後の世代へ引き継ぐ市民 本庄**

C案

さまざまな緑の役割を踏まえた理念イメージ

さまざまな緑の役割



緑のめぐみ溢れる健やかなくらし

緑の将来像図

・良好な自然地の保全（自然植生） 利根川

・農地と集落景観の保全（地域生態系の保全、田園景観の保全） 田園エリア

・良好な斜面林や湧水環境の保全、元小山川の保全と活用 段丘崖

- 緑による安全でにぎわいのあるまちづくり
- 身近な公園の充実、魅力的な公園整備
- 緑化等による雨水浸透能力の向上・ヒートアイランド現象の緩和
- 歴史的景観の保全

- 里山環境の保全（地域生態系の保全）（ヒートアイランド現象の緩和） 大久保山
- 自然との触れ合いの場としての活用

- 農地の保全（地域生態系の保全、水害や土砂災害の抑制）
- 農文化や自然との触れ合いの場としての活用

- 緑による安全でにぎわいのあるまちづくり
- 身近な公園の充実、魅力的な公園整備
- 歴史的景観の保全

- 農林地の保全（地域生態系の保全、水害や土砂災害の抑制）
- 里山・里地景観の保全
- 農文化や自然との触れ合いの場としての活用

- 森林の保全（地域生態系の保全、水害や土砂災害の抑制）
- 自然との触れ合いの場としての活用

山林の緑	市民・企業により育まれる緑	大規模な公園	河川軸
丘陵地の緑	工場の緑	○ 身近な公園等	
田園や集落の緑	利根川の緑	★ まちの拠点	